

応力・ひずみの観点からみたバルクセラミックスの 材料プロセスと機能発現・信頼性の向上

オーガナイザー： 東京工業大学 安田公一
長岡技術科学大学 田中 諭
東京医科歯科大学 宇尾基弘

東京理科大学 安盛敦雄
三菱マテリアル 長田 晃

セッション概要

異種材料の組み合わせから構成される多くのセラミックス製品は、製造時のみならず、稼働時にも、応力やひずみに関連する諸問題が現れてくる。これは、セラミックス製品の『信頼性』に関わる重要な課題であるが、これを分野横断的に議論することは少なかった。そこで、一度、分野間の垣根を取り払って、総合的に議論してみる必要があり、このような議論の中から、材料プロセスと機能発現の新たな地平が拓けるものと考えている。

セッションキーワード・トピックス

薄膜/基板系，ガラス，粉体プロセス，バイオセラミックス，構造用セラミックスなどの『バルクセラミックス』のプロセスと機能発現に関するトピックスや諸問題，それらに及ぼす応力・ひずみの影響，製造時および稼働時の信頼性向上

招待講演者（敬称略，順不同）

森田孝治（物材機構），岩澤順一（TOTO），宮崎広行（産総研），伊勢智彦（兵庫県立大），打越哲郎（物材機構），山本兼司（神戸製鋼所），山縣一夫（住友電工ハードメタル），伊藤節郎（東工大），増田優子（都立産業技術研究センター）

発表形式

口頭発表およびポスター発表を募集する。討論時間を長くして、質疑応答を充実する予定である。

協賛（予定）

応用物理学会，粉体工学会，日本ゾル-ゲル学会
日本機械学会，日本セラミックス協会エンジニアリングセラミックス部会，バルクセラミックスの信頼性革新に関する研究会

連絡先 kyasuda@ceram.titech.ac.jp（安田公一）